

令和5年度 公益財団法人焼津市振興公社事業報告

1. 総括事項

公益財団法人焼津市振興公社は、定款第3条の目的を達成するため、令和5年度において、概ね次のような事業を行いました。5月に新型コロナウイルス感染症が5類へ移行し、各館では事業をコロナ禍前の状況に戻して実施しました。また、焼津文化会館及び大井川文化会館ミュージコでは、指定管理業務受託最終年度を迎え、次期指定管理者申請を行って令和6年度から令和10年度までの指定管理者に指定されました。

(1) 地域文化の振興（公益目的事業）

焼津文化会館及び大井川文化会館ミュージコでは、市文化振興計画に基づき、国内外の優れた芸術文化の鑑賞機会を広く市民に提供するとともに、市民の芸術文化活動を支援するため芸術文化事業を鑑賞型、市民参加型、普及・協働型と位置づけ、バランスよく実施しました。

事業の実施については、市民の要求と経済性を考慮した上で良質な事業を企画しました。他の団体・機関との共催を含め76本（焼津51本・大井川25本）の芸術文化事業を行い、コロナ禍の収束に従って来館者（入場者・参加者）も順調に増加したため、9事業12公演が完売になるなど、好評を博しました。個別事業内容については、焼津文化会館分27～30ページ、大井川文化会館ミュージコ分は34～35ページに記載しました。

芸術文化事業の公演情報を広く周知するため、焼津文化会館・大井川文化会館ミュージコ統一情報紙「いべにゅ」を志太・榛原地区を中心に新聞折込にて毎月1回発行、メールマガジンやSNSを活用し、公演内容や世代に合わせたPR等で周知を行いました。

1 鑑賞型

優れたアーティストによるクラシック、芸能・演芸、ポピュラーなど多彩な事業を展開しました。

クラシックでは、13人の演奏者による弦楽アンサンブル「石田組2023/2024 アルバム発売記念ツアー」や12歳の天才ヴァイオリニスト“HIMARI”とその母“吉田恭子”による「HIMARI×吉田恭子 DUO コンサート」、そして姉・村治佳織と弟・村治奏一の姉弟による「村治佳織&村治奏一ギター・デュオコンサート」などを開催しました。芸能・演芸では、お笑い番組でおなじみのビューティーこくぶとMr.シャチホコの「最強!!歌まねジョイントライブ in 焼津 第2弾（完売）」や「桂文珍・林家たい平 二人会（完売）」等を開催しました。

ポピュラーでは、「八神純子 Live」「Masahiko Kondo KANREKI DASH（完売）」「純烈コンサート2024」など、多くの世代に楽しんでいただけるアーティストを招聘し開催しました。

2 市民参加型

市民の文化活動の促進と地域文化の活性化を図るため、ワークショップや市民自らが公演に参加・出演する事業を展開しました。

市民から作品を募集する「市民絵画公募展『まちかど展』」、「市民工芸公募展」やワークショップとして「浅野祥 三味線ワークショップ」、「演劇と衣裳のワークショップ」、市民自らが出演する「ミュージコ吹奏楽フェスティバル」、「ミュージコピアノマラソン」のほか、ボランティア団体ミュージコサポートクラブの協力による「ロビーコンサート」を開催しました。

3 普及・協働型

普及を目的に無料又は低価格の講座・公演など市民に広く芸術文化に親しんでいただく事業を展開しました。

焼津ではお馴染みとなった「浅野祥」による津軽三味線の福祉施設等への訪問コンサートや「やおりえこ」による市内幼稚園・保育園等への訪問コンサート、そして大井川では市内の小学6年生及び引率者を対象に、劇団四季によるファミリーミュージカル「人間になりたがった猫」を開催し、好評を得ました。

また、キーウ・クラシック・バレエ団の公演に合わせて貴重なリハーサル風景の見学会を開催し、参加者にはバレエを身近に感じ、興味を持ってもらうことができました。

さらに、YouTube を活用して「出演者のコメント及び演奏動画などでPR する事前告知」並びに「コンサート当日の様子を撮影した動画を後日配信」など、来館者の増加や来館できない方へのサービスとしての「配信事業」も昨年度に引き続き実施しました。

天文科学館においては、利用者に充実した科学教育の機会を提供し、天文や科学に対する興味・関心を高めることを心掛けた事業展開に努めました。また、焼津市によりプラネタリウム機器更新事業が行われ、3月20日にリニューアルオープン記念式典を開催しました。個別の事業内容については、39～41ページに記載いたしました。

1 学校連携事業

利用団体（小中学校）の希望を受け、科学工作を体験できる「わくわくワークショップ」13件、学校の希望に応じた出張講座を9件実施したほか、総合学習23件71人を受け入れました。また、「宇宙の日」記念行事全国小・中学生作文絵画コンテスト（絵画の部）では、277点の応募があり、科学館表彰式並びに応募作品の展示を行いました。それから、小学校を対象に小型ロボット及び教材の貸出しを行い、プログラミング教育の普及に努めました。

2 児童生徒への理科学習支援事業

結成7年目となる「日本宇宙少年団焼津分団」は、19人の団員により年間12回の活動を行いました。また、夏休みには恒例の「小学生のための星空教室」と「夏休みの理科自由研究相談会」を開催し、児童生徒の理科学習を支援しました。プラネタリウム100周年記念事業「子ども宇宙教室2023」では明石市天文科学館館長の井上毅氏を招いてプラネタリウ

ムの歴史と魅力について講演していただきました。

3 生涯学習支援事業

7年目を迎えた星空案内人資格認定講座「大人のための天文教室+（プラス）」では、7人の星空案内人と22人の準案内人を認定しました。また、感染症対策で休止していた「サイエンスフェスティバル」を4年ぶりに再開し、夏・冬合わせて2,000人以上の参加者に科学の楽しさを体験していただきました。

4 天文台事業

毎週土日に、その日見ごろの天体を県内一の大型望遠鏡で観望する星空観望会を開催し、本物の星空を体験する機会を提供しました。また、今回好条件となった「ふたご座流星群」の観望会では、当日は雲が多く、流れ星は1つしか見ることができませんでしたが、参加者には大変好評でした。

5 プラネタリウム事業

生解説プラネタリウムでは、プラネタリウム誕生100周年を記念し、プラネタリウムの誕生と進化について紹介する「進化するプラネタリウム」やプラネタリウムリニューアルを記念し、新しいプラネタリウムの機能を駆使した「シン 宇宙だいぼうけん！」など季節ごとに番組を変えて投影しました。また、子供たちに人気のアニメ番組を土日祝日や学校長期休業期間、そしてゴールデンウィークやお盆期間に投影し、大人を対象とした「CGドームシアター・ヒーリング」では、富士山世界文化遺産登録10周年を記念して、富士山の美しい姿を姫神の音楽とともに紹介する「富士の星暦」を投影して好評を得ました。なお、リニューアルオープン後は、より対象が明確になるように、投影種別を「生解説の時間」「キッズの時間」「ファミリーの時間」「大人の時間」に変更しています。

特別投影としては、プラネタリウム100周年全国一斉記念イベントの配信を観覧する企画やプラネタリウム音楽会「星霜ロマン 星空に響く二胡の調べ Vol.9」、そして、静岡福祉大学後援の字幕付きプラネタリウムなどを実施し、様々な切り口から天文に触れる機会の提供に努めました。

6 展示・体験室事業

期間を定め、テーマを変えて「押しまくれ!!スイッチランド2」、「クワガタ・カブトムシ王国」、「サイエンス・クエスト 魔王城の宝物を探せ!」、「びんかん?どんかん?からだ感かく選手権」の4本の特別展を開催しました。また、新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、「ためして発見!なぜなぜ工房」と「楽しい科学の実験ショー」を対面での実施に戻しました。

7 情報発信事業

情報紙「DISCOVERY」を年4回発行し、市内及び近隣市町の全小学生等に配布しました。また、季節ごとに制作するプラネタリウムパンフレットには、投影する番組や星図を掲載し、わかり易さと内容の充実を図りました。

さらに、テレビやラジオの出演や新聞雑誌等の取材には積極的に対応し、ホームページ、

X（旧ツイッター）、インスタグラム、フェイスブックにより、運営情報や天文科学情報などの発信にも努めました。

（2）公の施設等の管理運営の受託（公益目的事業、収益事業）

焼津市の文化芸術の拠点施設である文化センターの施設管理と焼津、大井川両文化会館の運営、天文科学館の管理運営、ディスカバリーパーク焼津内の公園・広場の維持管理を受託しました。

両文化会館及び天文科学館の施設運営につきましては、市民の様々な要求と期待に添うことができるよう、複合施設としての機能を生かすとともに、弾力的・効果的な運営に努めました。年間利用者は、焼津文化会館では 167,870 人、大井川文化会館では、58,969 人、天文科学館では、101,812 人となり、プラネタリウム機器更新のための休止や休館期間があった天文科学館を除いて、増加しています。

館別利用者数については、焼津文化会館が 31～33 ページ、大井川文化会館が 36～38 ページ、天文科学館が 42～43 ページに記載いたしました。

ディスカバリーパーク焼津の公園においては、樹木・芝の定期的な手入れや、公園清掃を実施しました。また、屋外トイレの漏水箇所や公園遊具等について修繕を行いました。

（3）物品販売事業（収益事業）

公社の安定財源確保のため、管理施設内の自動販売機による飲料等の販売及び天文科学館の売店にて天文グッズ等の販売を実施しました。

自動販売機については、屋内外に設置することで来館者の利便性向上を図りました。

また、天文科学館の売店については、特別展等のタイアップ商品をはじめ、星座早見や組み立て望遠鏡、実験キットなど天文・科学への興味を喚起する商品や学習に役立つ書籍等を取り扱うことで事業との相乗効果を図りました。

<附属明細書の作成について>

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しておりません。